

# 清水町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 概要

清水町はその多くが農地と山間から形成されており、人口はJR十勝清水駅近郊の市街地部を除き農村地域特有の低密度に分散する形態となっている。また人口集積地である市街地部においても、役場や病院スーパーなどがある中心部から2kmほど離れた場所に公営住宅や団地が点在していることから、自動車以外の代替移動手段を持たない住民にとっては、不便な生活環境である。

## 清水町生活交通ネットワーク計画の目標・効果

### 【目標】コミュニティバスの利用者数

- ・清水地区⇒50名/日 ・御影地区⇒25名/日
- ・清水御影連絡便⇒10名/日

【効果】移動手段を持たない高齢者等の外出機会の促進が図られる。今後更に進む高齢化を鑑みれば、移動制約者(自動車の運転が困難な人・自由な移動が困難な人など)は増加していくことから、バスが「住民の生活の足」として確保される。

【運行事業者】北海道拓殖バス(株)

【運行系統】清水巡回線、御影巡回線、清水・御影連絡線1、清水・御影連絡線2

## 地域公共交通の現況

- ・JR根室線(十勝清水駅、御影駅)
- ・北海道拓殖バス(株)(帯新線)
- ・スクールバス(13路線)

## 清水町地域公共交通活性化協議会開催状況

7月18日 第12回協議会を開催

・地域公共交通確保維持事業に係る地域内フィーダー系統確保維持計画の申請について

・コミュニティバスの運行について(回数券の導入、高齢者の運転免許自主返納者の運賃減免制度、フリー降車制度を決定)

## 平成25年度事業概要

清水巡回線 十勝清水駅前～前田クリニック～十勝清水駅前 13.6km

御影巡回線 御影駅前～御影郵便局～御影駅前 5.8km

清水・御影連絡線1 十勝清水駅前～御影駅前 11.0km

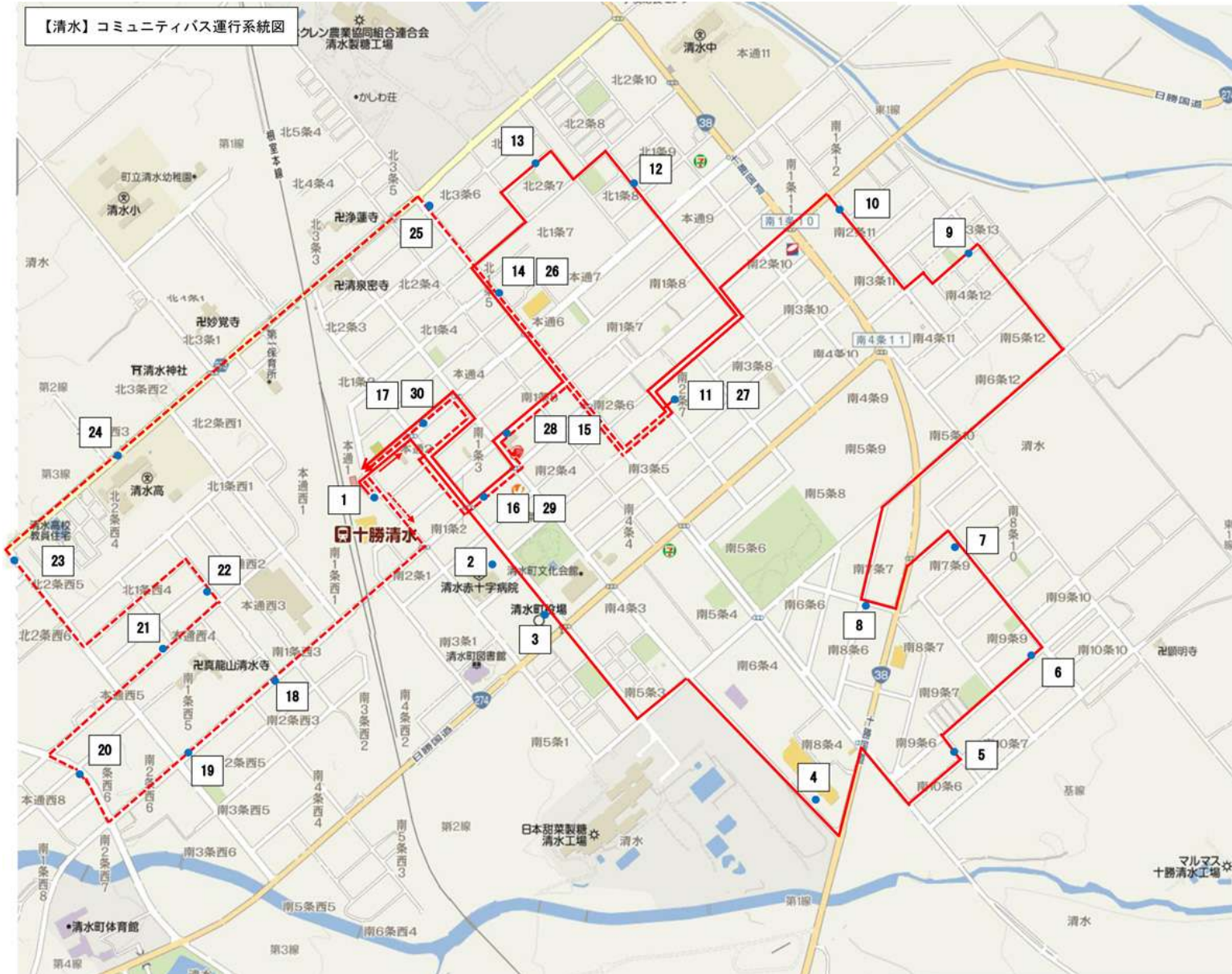
清水・御影連絡線2 十勝清水駅前～御影駅前 12.6km

## 平成25年度事業の実施状況

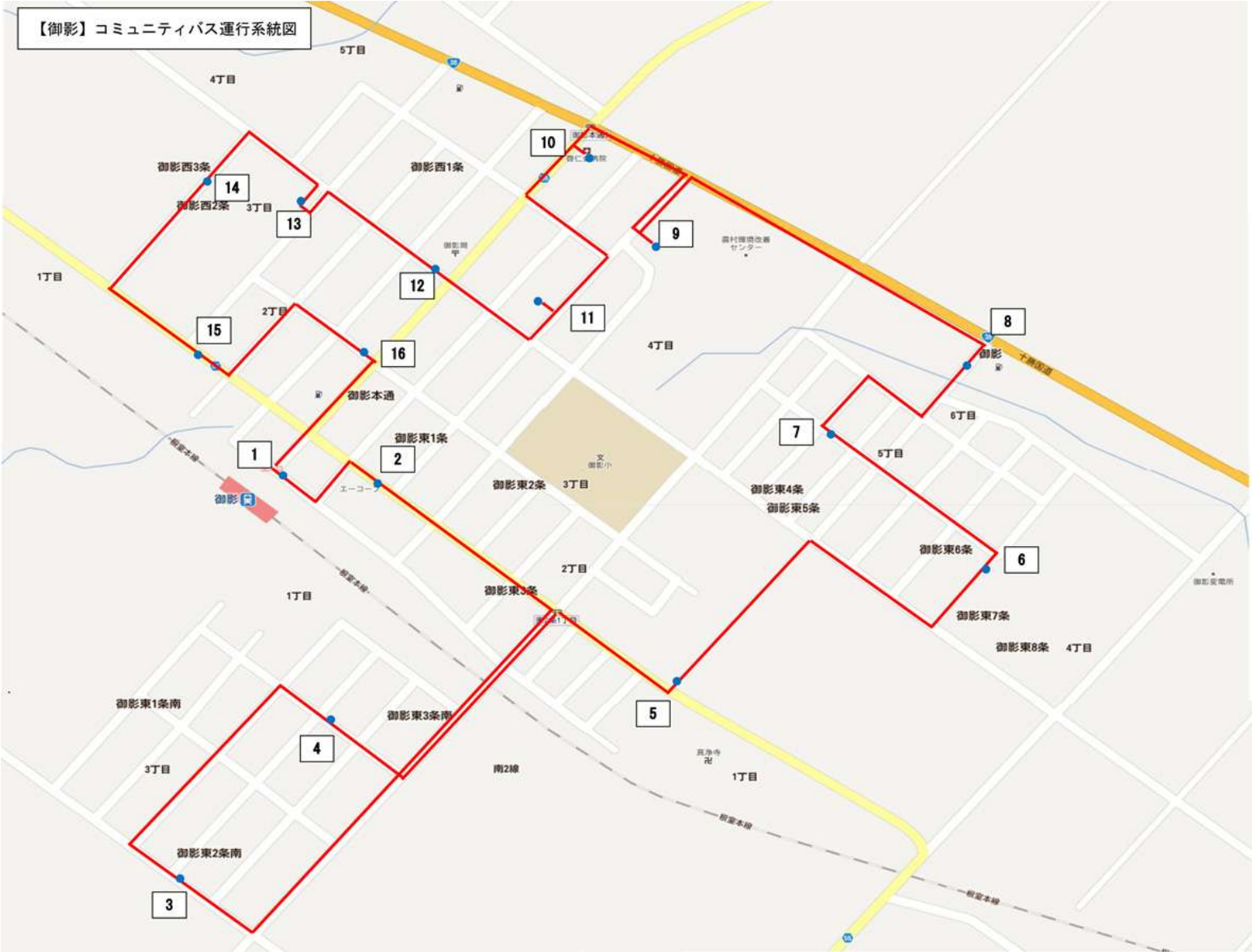
### 1) プロセス、創意工夫

- 9月と12月に広報に全戸チラシを配付しコミュニティバスの普及啓発。
- 10月より、回数券の導入、高齢者の運転免許自主返納者の運賃減免制度、フリー降車制度を導入し利用者の利便性を図る。また、制度についてチラシや新聞報道等による啓発活動。

## 2) 運行ルート



## 2) 運行ルート





## 2) 運行ルート



### 3) 利用実績 4) 収入実績

月	総運行日数	清水巡回線				御影巡回線				連絡便						月計	料金収入	回数券		免許返納者	フリー降車	
		運行日数	午前		午後		運行日数	午前		午後		御影行	清水行		御影行			小計	販売冊数			使用枚数
			午前	午後	小計	午前		午後	小計	御影行	清水行		御影行	清水行								
10月	22	13	204	78	282	9	24	43	67	11	12	8	9	2	42	391	27,150	28	117	2	30	
11月	21	13	243	83	326	8	32	47	79	5	7	8	12	0	32	437	30,700	9	128	2	36	
12月	20	12	288	94	382	8	23	47	70	3	10	5	14	3	35	487	35,550	13	127	3	60	
1月	21	13	307	89	396	8	36	35	71	4	4	12	13	2	35	502	38,350	8	110	7	51	
2月	19	11	314	98	412	8	31	47	78	6	3	20	10	3	42	532	40,550	16	121	5	52	
3月	20	11	326	104	430	9	29	48	77	11	3	12	19	1	46	553	41,400	10	139	0	86	
																0						
合計	123	73	1,682	546	2,228	50	175	267	442	40	39	65	77	11	232	2,902	213,700	84	742	19	315	
路線毎実績率(%)			75.49%	24.51%			39.59%	60.41%		17.24%	16.81%	28.02%	33.19%	4.74%								
実績率(%)			(57.96%)	(18.81%)	76.77%		(6.03%)	(9.20%)	15.23%	(1.38%)	(1.34%)	(2.24%)	(2.65%)	(0.38%)	7.99%							

平成23年11月～平成24年9月			平成24年10月～平成25年3月			平成25年3月		
1日平均延乗車人数			1日平均延乗車人数			1日平均延乗車人数		
路線	運行回数	人数	路線	運行回数	人数	路線	運行回数	人数
清水巡回線	135運行	28.1人	清水巡回線	73運行	30.5人	清水巡回線	11運行	37.4人
御影巡回線	93運行	8.8人	御影巡回線	50運行	8.8人	御影巡回線	9運行	9.8人
連絡便	228運行	2.1人	連絡便	123運行	1.9人	連絡便	19運行	2.2人
(通常分)	(228運行)	(2.1人)	(通常分)	(123運行)	(1.8人)	(通常分)	(20運行)	(2.0人)
(増便分)	(93運行)	(0.0人)	(増便分)	(50運行)	(0.2人)	(増便分)	(9運行)	(0.4人)
全路線合計	228運行	22.4人	全路線合計	123運行	23.6人	全路線合計	19運行	28.0人

## 5) 事業実施の適切性

平成24年

【清水巡回線】

【御影巡回線】

【清水～御影連絡便1】

【清水～御影連絡便2】

利用料金 1回の乗車につき100円

(小学生50円、小学生入学前の子どもは無料)

上記計画どおり事業は適切に実施された。

## 6) 目標・効果達成状況

【清水巡回線】

・目標50名/日に対して31名/日であった。

【御影巡回線】

・目標25名/日に対して9名/日であった。

【清水・御影連絡線1、2】

・目標10名/日に対して2名/日であった。

## 7) 事業の今後の改善点

【各路線共通事項】

10月に導入したフリー降車制度、回数券導入による割引制度、高齢者の運転免許自主返納者に対する運賃減免制度の周知による浸透を図る。

【清水巡回線】

需要状況を把握し一部路線変更を検討する。

【御影巡回線】

地域コミュニティ団体と協議し路線の需要を把握する。

【清水・御影連絡線1、2】

共通事項と同じ。

## 8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

自己評価のとおり、適切に事業が実施されている。

利用者利便の向上を目的にフリー乗降、回数券、免許返納者に対する運賃減免制度を導入したものの、各系統とも目標値に達していない。

運賃減免は、利用者数の向上に寄与する一方で収支を圧迫する要因ともなるので、実態に即した適切な目標値を再設定することも検討するとともに、今後、制度の周知を徹底し、需要状況を把握したうえでの路線変更等も検討することにより、持続可能な事業となることを期待する。